

平成 27 年 5 月 26 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 27 年 5 月 26 日 (火曜日)

午後 2 時 15 分から午後 3 時 10 分まで

2 場 所 大河津小学校 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	若月 和浩
教育総務課長	武樋 正隆	教育施設課長	中村 仁
学務課長	茂田井裕子	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	波多 文子	保育課長	大野 宏
中央公民館長	佐藤 実	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹
学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	水内 智憲	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
学校教育課企画推進係	古川 真哉		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 37 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 5 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

日程第 2 議案第 37 号 附属機関委員の委嘱について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 37 号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 長岡市子ども・子育て会議及び長岡市図書館協議会について、委員を委嘱したいものである。長岡市子ども・子育て会議は、長岡市小中学校 PTA 連合会副会長の交代によるもの、長岡市図書館協議会は、新潟日報社長岡支社長が交代したことによるものである。委嘱期間は、いずれも平成 27 年 6 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の議案の審議は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、平成 27 年度 全国学力・学習状況調査問題 長岡市教育委員会分析概要について事務局の説明を求める。

(宮学校教育課主幹兼管理指導主事) 4月21日に行われた全国学力・学習状況調査の「教科に関する調査」について問題分析を行ったので、傾向及び特徴について概要を報告する。今年度はこれまでと同様に国語・算数(数学)のA・B問題に加え、理科の調査も行われた。理科はA問題B問題の区別はなく、一体的に問うという形で行われた。理科については平成24年に抽出調査で初めて行われ、今回は3年振りに、しかも全員参加で行われたのが特徴である。小学校A問題については、例年どおり学習内容の定着をみる問題で、目立った傾向は見られなかった。小学校B問題と理科については、「実生活との関連」や「理由、根拠を明確にする」という特徴が問題に見られた。特に特徴的な問題として、国語と理科について説明する。まず小学校国語は、「一休さんととんち話」の紙芝居を6年生が作り、1年生に読み聞かせをするという学校生活で実際にみられる、実生活に関連した問題であった。その中の問2、「もうよい。わしの負けじゃ。」をあなたならどのように声に出して読みますか。」という問題では、登場人物の心情を読み取り、かつ音声でどのように表現するのかを考えて書くものであった。心情を読み取る問題はこれまでもあったが、音声でどう表現するかという出題はこれまでにない新しい出題形式と捉えた。正答例について、この殿様は、「もうよい。わしの負けじゃ。」を悔しそうに言うのか、それとも一休に対してあっぱれと賞賛した言い方をするのか、どちらで捉えてもよいと答えが二つあるというのも特徴的である。次に小学校理科は実生活に関連した問題で、紅茶の葉が動くことを基に水の温まり方を考えさせるものであった。この問題に限らず小学校理科は、実生活との関連を重視した出題が特徴的であったと捉えている。次に中学校A問題については、日頃の学習内容や基礎的な知識が身に付いているかをみる問題で、例年どおりの出題であったと捉えている。中学校B問題と理科については、「高度な読解力」を重視した問題が多く見られた。数学の1問を紹介する。校内の落とし物を減らすために行った調査の結果分析をテーマにした問題があった。拓也さんが作った表では、落とし物の合計の平均値が1回目は

20.3 個、2 回目は 19.3 個と減ったので、状況は良くなったと考えた。それに対して優香さんは、落し物の状況が良くなったとは言い切れないと主張した。そのように優香さんが主張できる理由を考える問題である。優香さんの作ったグラフを基に、「2 回目は 1 学級だけ極端に少なくなったために平均値が下がったもので、他の学級の状況が良くなっているとは限らない。」と答えるのが正答例である。単に平均値を求めるだけではなく、最小値やちらばり具合など複数の情報を的確に読み取るという意味で、「高度な読解力」が求められていると捉えたものである。これらについて学校教育課指導主事で情報共有し、これからの学校訪問、授業参観等で具体的な授業を見ながら、今問われている力を各教員に指導していきたいと考えている。また、結果発表は例年だと 8 月下旬なので、結果が届き次第分析を行い報告させていただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 問題に対する教育委員会学校教育課としての分析説明はよくわかった。8 月下旬の結果分析について、昨年度は非常に丁寧な分析であったので、今回もまたそのようにお願いしたい。今回は特に小学校国語が、2 つ答えがある点で特徴的であった。活用の問題に関して、子どもがどのように考えるか丁寧に読み取っていかなければならない。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 27 年度長岡市成人式について、事務局の説明を求める。

(波多子ども家庭課長) 5 月 3 日に長岡、越路、小国、栃尾、川口の 5 地域で成人式を行った。忙しい中ご出席いただいた教育委員の皆様へ感謝する。長岡地域のアオーレ会場では、式典の最中に静粛にしてもらうのが今年度の課題であった。少し不本意ではあったが、初めて会場内に警備員を配置し、警察にも協力を要請した。その結果、多少騒がしくなることもあったが、円滑に式典を進めることができた。支所地域については、新成人が企画をしたり、恩師が訪れたり、どの会場も和やかに開催されたと聞いている。職員からは、来年度に向けての反省点も出ており、それも踏まえながら、長岡地域においても、支所地域のように成人、若者が主体と

なった運営をしたいと検討している。今後、長岡の大学生と意見交換をする機会を設けたいと考えている。

(大橋委員長) それぞれの会場の様子や感想について、委員の皆さんからお話しただきたい。

(羽賀委員) 市長と栃尾会場に出席した。一見、不良に見える子が集まっていて心配していたのだが、リーダー格の子が「静かにしろ。話を聞け。」と注意していた。これは、社会で必要な力であり、長岡の考える学力である。社会に出るにあたって、これをちゃんと学んでくれているのだと感じた。見かけだけで評価せず、納得いくように話しかけていくことが大事だと思った。

(加藤教育長) 子育て支援部が成人式を担当するよりも、市民協働推進室などが担当すれば、教育委員会ではできないことができたり、成人主体の企画運営ができると思うので、検討していただきたい。

(青柳委員) 小国地域に出席した。案内状には、「当日、係のものから説明がある。」と記載してあったが、事前の打ち合わせもなく、開会宣言をする場所がわからなかった。他の会場では、司会者と同じ位置ですることが多いが、今回は壇上でしたことには違和感を覚えた。式典の前に、もう少し打合せができると良い。

(大橋委員長) 長岡地域に出席した。恩師からのビデオレターが、非常に簡潔で大変好評であった。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に長岡市子育て世帯臨時特例給付金支給事業実施要綱の一部改正について、事務局の説明を求める。

(大野保育課長) これは、市長の補助執行として行い、長岡市として公表するため報告事項とするものである。改正の理由は、平成 26 年度に臨時的な給付措置として実施した子育て世帯臨時特例給付金支給事業を、平成 27 年度も支給金額等を変更して実施することから、必要な改正を行うものである。支給対象者は、平成 27 年 6 月分の児童手当受給者である。ただし、平成 26 年度の所得が、所得制限限度額以上の方は支給対象外となる。対象児童は、約 3 万 6000 人の見込みであり、支給金額は、児童 1 人につき 3,000 円である。主な改正内容は記載どおりだが、特に

対象児童について、平成 26 年度は臨時福祉給付金の支給対象児童は対象外であったが、今回は対象となる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、長岡市子育て応援券事業概要について、事務局の説明を求める。

(大野保育課長) これは、政府の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に基づき、子育て世帯の生活の支援等を図ることを目的に、子育て世帯に対して「子育て応援券」を配布するものである。配布対象者は、原則として、平成 27 年 5 月分の児童手当受給者である。ただし、これに該当しない人のうち平成 27 年 6 月分の児童手当受給者も対象とする。いずれかに該当すれば、対象となる。いずれも、児童手当の所得制限により特例給付を受けている人は対象外となる。対象児童数は、36,500 人の見込みである。発行額等は、対象児童 1 人につき、1,000 円の商品券を 5 枚、5,000 円分の商品券を配布する。平成 27 年 7 月 2 日から順次郵送予定であるが、公務員分については、10 月頃から郵送予定である。使用期限は、平成 27 年 7 月 3 日から 12 月 31 日までである。商工部で発売するプレミアム商品券と同様の期限となっており、その商品券と同様の店で使用できる。デザインについては、すかしを入れ、金額部分に輝く加工を施し、カラーコピーでは対応できない仕様にする予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 発行者が教育委員会ではなく、教育長とあるがなぜか。

(若月子育て支援部長) 教育委員会としては発行できないので、教育長の発行となる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、長岡市災害復興文庫にかかわる刊行物の発行及び活用について、事務局の説明を求める。

(金垣中央図書館長) 中央図書館文書資料室では、7・13 水害、中越大震災など、災害に関わる内容の刊行物の発行をとおして、長岡市の災害と復興の経験・教訓を

市民や全国に発信している。この度発行した3冊を本日お配りした。7月27日に仙台市で文書資料室の資料を公開する国立国会図書館主催の講座や、来年3月に南相馬市立中央図書館で開催予定の展示会など、東日本大震災の被災地での各種講座の際にPRし、情報発信したいと考えている。この続きとして今年度中に、来年3月の東日本大震災5周年にあわせて、「長岡市災害復興文庫」を紹介する図録を発行予定である。引き続き積極的な情報発信をしたいと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) リレー講演会「災害史に学ぶ」記録誌は非売品とあるが、希望すれば入手できるのか。

(金垣中央図書館長) 発行分のうち、半分は東日本大震災の機関に寄贈し、残りは市内の小中学校や施設に配布予定である。残部はほとんどないが、希望があれば寄贈したい。

(大橋委員長) 他に質疑。意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成27年度第1回社会教育委員会、公民館運営審議会 会議報告について、事務局の説明を求める。

(佐藤中央公民館長) 平成27年5月18日に開催し、内容は主に平成27年度の事業説明である。社会教育関係各課の課長や館長より出席いただき、主要事業について説明し、質疑応答を行った。委員の中から出された主な意見・質問として、中央公民館で行うシニア向け講座について、社会教育委員の意見を取り入れる考えはあるかという質問に対しては、社会教育委員に情報提供し、ご意見をいただきながら、取り組んでいきたいと回答した。また、本会議終了後の自主研修では、シニア層の参加をテーマに一年間研究することが決まったと聞いている。コミュニティセンターにおける公民館機能を充実させていくことが大事であると思うが、「市民活動推進課と中央公民館との連携はどのようになっているのか。」という質問に対しては、「公民館の生涯学習推進大学で、コミュニティセンターで活躍する生涯学習推進員を育成しているが、勉強会などを行い公民館機能を充実させるとともに、引き続き連携を深めていきたい。」と回答した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、催し案内に入る。企画展「めがはじまり～樹木の実生・命のものがたり～」について、事務局の説明を求める。

(小熊科学博物館長) 科学博物館では「めがはじまり～樹木の実生・命のものがたり～」と題して、植物の芽生えに焦点をあてた企画展を開催する。会期は5月30日から7月12日までで、長岡市立科学博物館企画展示室を会場で行う。会場では、通常展示している花や葉だけでなく、木の芽のアクリル標本を展示する予定である。木の芽をアクリル封入標本にするのは、全国的にも珍しいそうである。その他に、県内の植物研究者が描いた芽生えの植物画もあわせて展示する予定である。関連イベントとして、6月7日に「空飛ぶタネ模型と折り紙ヒコーキ飛行実験」を開催するほか、関連講座として、新潟大学の植物専門の先生から講話いただく予定である。ぜひお立ち寄りいただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はあるか。

(波多子ども家庭課長) 勝手に表彰! 「すくすくジャパン! すてきな子ども・子育て支援スローガン」大賞について報告する。教育委員の皆様にご協力いただいた、長岡市の子育て・育ち“あい”プランの基本理念である「育つよこび 育てる幸せ みんなで子育てするまち 長岡」がこの度表彰された。これは、応援団長に樋口恵子さん、堀田力さん、安藤哲也さん、長岡応援団員でもある勝間和代さんが名を連ねているにっぽん子育て応援団が、子ども・子育て分野において全国の各自治体の基本理念スローガンのうち自分たちの心に響いたものを独自に選考するもので、この度、長岡市のスローガンが表彰されたものである。福井市、奈良市、石垣市とあわせて選出され、大変うれしく思う。プランの愛称や基本理念について、皆さんの意見を聞きながら作成したことにやりがいを感じた。5月30日に開催される子育て応援団結成6周年記念フォーラムにおいて、表彰式が予定されており、若月子育て支援部長が出席予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員